

2023 年度 教員の自己点検・自己評価報告書

所属学部 学科	職位	氏 名
人間健康学部 人間健康学科	講師	松村雄樹
最終学歴	学 位	専門分野
神戸大学大学院人間発達環境学研究科 博士課程後期課程修了	博士 (学術)	スポーツ社会学

I 教育活動

○理念・目標・方針・計画（方法）

【理念】

本学における「三つの言葉」（建学の精神／校訓／教職員の心構え）を念頭に置き、学生一人ひとりの個性を育む

【目標】

「真に信頼して事を任せうる人格の育成」を目指し、友人・地域・社会に必要とされる学生教育に勤しむ

【方針】

対集団ではなく、個を大切にし、一人ひとりに届く講義を心掛ける

【計画（方法）】

講義科目では、教員から学生への一方向の講義だけでなく、課題解決型のグループワークやプレゼンテーションを多く取り入れ、学生と教員とのやり取りの機会を増やすだけでなく、学生間でのディスカッションを活発にできるような環境づくりを心掛ける。

演習科目では、「オンリーワンを一人にひとつ」を念頭に学生一人ひとりに目を向け、しっかりと対話しながら学生それぞれの個性を育む教育活動やゼミ論文執筆のサポートを行う。

【担当科目】

（前期）

スポーツ社会学、レクリエーション論、基礎演習Ⅰ、障害者スポーツ論、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅲ

（後期）

スポーツ原理、レクリエーション実技、基礎演習Ⅱ、健康実践演習、生涯スポーツ論、専門演習Ⅱ、専門演習Ⅳ

○教育方法の実践

講義では、学生が発言する機会を多く設けた。学生からの発言や学生同士のディスカッション、プレゼンテーションの時間を多用し、他者の意見や自身の発言の機会を多く設けた。

○作成した教科書・素材

特になし

○自己評価

概ね計画通りに教育を提供することができたと考える。しかしながら、本年度は専門演習受講生の中から卒業研究履修者を出すことができなかったため、来年度は複数名履修者を出せるように努める。

II 研究活動

○研究課題

マスターズスポーツイベント開催が地域に及ぼす効果に関する研究

○目標・計画

【目標】

マスターズスポーツイベント開催による効果を明らかにし、今後のマスターズスポーツイベント振興事業のための基礎資料を得る

【計画】

マスターズ甲子園の主催団体である全国高校野球 OB クラブ連合に加盟する都道府県リーグを対象に質的・量的な調査を実施し、スポーツイベント開催による成果として大会開催地にどのような影響を与えたのかを明らかにする。

○2016 年 4 月から 2024 年 3 月の研究業績（特許等含む）

（著書）

（学術論文）

- ・乾 順紀, 長ヶ原 誠, 彦次 佳, 谷 めぐみ, 藺田 大地, 松村 雄樹, 青山 将己, 松崎 淳, 三浦 敬太, 山下 耕平 (2022) 就学期の運動部所属経験が成人層の運動・スポーツ参画状況に与える影響: 成人以降のスポーツ活動の多様化に着目して. 生涯スポーツ学研究, 19(1):1-12.
- ・Junki Inui, Makoto Chogahara, Kei Hikoji, Megumi Tani, Daichi Sonoda, Yuki Matsumura, Masaki Aoyama, Jun Matsuzaki, Keita Miura, Kohei Yamashita(2022) Relationship between Age Group and Sports Involvement Status Over the Past Year in Adult: From Examination of Experience of Adherence, Dropout, Adoption, and Resumption Career. International Journal of Sport and Health Science, 20:208-223.
- ・谷 めぐみ, 長ヶ原 誠, 松村 雄樹, 青山 将己, 松崎 淳, 乾 順紀, 三浦 敬太, 島津 大地, 山下 耕平 (2021) 幼少年期の運動・スポーツ推進と成人の運動・スポーツ参与の関連. 体育・スポーツ科学, 30:11-22.
- ・松村 雄樹, 長ヶ原 誠, 彦次 佳, 谷 めぐみ, 藺田 大地 (2020) 運動・スポーツ実施の開始希望者と再開始希望者の条件要因に関する比較研究. 生涯スポーツ学研究, 17(1):1-11.
- ・松村雄樹, 長ヶ原誠, 彦次 佳, 谷めぐみ, 藺田大地 (2020) 中高年者における運動・スポーツ実施キャリアの実現要因の相違性について: 継続・開始・再開における出現頻度に着目して. 体育・スポーツ科学, 29:1-9.
- ・Matsumura Yuki, Chogahara Makoto (2020) Facilitative factors on career patterns of sports participation in middle-aged and older adults: A comparative study. International Journal of Sport and Health Science, 18:220-230.
- ・藺田 大地, 長ヶ原 誠, 彦次 佳, 谷 めぐみ, 松村雄樹 (2017) 中高齢者におけるマスターズスポーツ志向の予測要因に関する研究, 生涯スポーツ学研究, 14(1):13-23.
- ・Sonoda Daichi, Chogahara Makoto, Hikoji Kei, Tani Megumi, Matsumura Yuki (2017) Discriminant Analysis of Adopters and Adherers of sport activities: Focused on the Differences of Their Support Needs. Journal of Asia Sport for All. 14(1):22-36.
- ・谷 めぐみ, 長ヶ原 誠, 彦次 佳, 藺田 大地, 松村 雄樹 (2016) 成人の運動・スポーツの実施意

図と行動の予測性に関する縦断研究. 生涯スポーツ学研究, 13(2):15-26.

(学会発表)

- Daichi Shimazu, Makoto Chogahara, Kei Hikoji, Megumi Tani, Daichi Sonoda, Yuki Matsumura, Masaki Aoyama, Jun Matsuzaki, Junki Inui, Keita Miura (2020) Factors Associated with Participation Interest in World Masters Games 2021 Kansai: Comparing Interested Group and Uninterested Group, The 2020 Yokohama Sport Conference
- Keita Miura, Makoto Chogahara, Kei Hikoji, Megumi Tani, Daichi Sonoda, Yuki Matsumura, Masaki Aoyama, Jun Matsuzaki, Junki Inui, Daichi Shimazu (2020) Characteristics of the Volunteer Applicants for International Sporting Events: A Case Study of WMG2021KANSAI, The 2020 Yokohama Sport Conference
- Matsumura Yuki (2019) Facilitative Factors on Career Patterns of Sports Participation in Middle-Aged and Older Adults: A Comparative Study, 26th TAFISA World Congress Tokyo 2019 (in Tokyo, Japan)
- 松村雄樹, 長ヶ原誠, 彦次 佳, 谷めぐみ, 藺田大地, 青山将己, 松崎淳, 乾順紀, 山下耕平, 三浦敬太, 出戸寿明 (2019) 中高年者における運動・スポーツ実施キャリアの実現要因に関する研究ー継続群・開始群・再開群との比較からー, 日本生涯スポーツ学会第21回大会 (於: 北翔大学)
- 山下 耕平, 長ヶ原 誠, 彦次 佳, 谷 めぐみ, 藺田 大地, 松村 雄樹, 青山 将己, 松崎 淳, 乾順紀, 三浦 敬太, 出戸 寿明 (2019) マスターズスポーツ参加者の WMG2021 関西への参加意欲に関連する要因: 硬式野球競技に着目して, 日本生涯スポーツ学会第21回大会 (於: 北翔大学)
- 出戸 寿明, 長ヶ原 誠, 彦次 佳, 谷 めぐみ, 藺田 大地, 松村 雄樹, 青山 将己, 松崎 淳, 乾順紀, 山下 耕平, 三浦 敬太 (2019) 国際生涯スポーツイベントの開催準備期における大会関連事業のプロセス評価: ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の開催地に着目して, 日本生涯スポーツ学会第21回大会 (於: 北翔大学)
- 三浦 敬太, 長ヶ原 誠, 彦次 佳, 谷 めぐみ, 藺田 大地, 松村 雄樹, 青山 将己, 松崎 淳, 乾順紀, 山下 耕平, 出戸 寿明 (2019) スポーツイベントにおけるボランティア参加が活動主体者に及ぼす影響: マスターズ甲子園ボランティアのキャリアに着目して, 日本生涯スポーツ学会第21回大会 (於: 北翔大学)
- 松村雄樹, 長ヶ原誠, 谷めぐみ, 彦次 佳, 藺田大地 (2017) 運動・スポーツ実施の開始希望者と再開群希望者の条件要因に関する研究, 日本生涯スポーツ学会第19回大会 (於: 龍谷大学)
- 松村雄樹, 長ヶ原誠, 彦次佳, 藺田大地 (2017) 運動・スポーツ実施希望者の実現要因に関する研究ーテキストマイニングによる解析ー, 日本体育学会第68回大会体育社会学専門分科会 (於: 静岡大学)
- 松村雄樹, 長ヶ原誠 (2017) 成人・中高齢者における運動・スポーツ実施希望者の実現要因に関する研究, 兵庫体育・スポーツ科学学会第28回大会 (於: 兵庫大学)
- Ryutaro Yamakita, Makoto Chogahara, Yuki Matsumura (2016) Conceptualisation of the 'Marketing Mix 4 P' s' for masters sports events: Comparison between Japan and Australia, Sport Management Association of Australia and NZ
- 山北隆太郎, 長ヶ原誠, 藺田大地, 松村雄樹 (2016) マスターズスポーツにおけるイベントマネジメントの日豪比較, 兵庫体育・スポーツ科学学会第27回大会

(その他)

○科学研究費補助金等への申請状況、交付状況（学内外）

愛知東邦大学 地域創造研究所 2023 年度指定課題 特別研究助成 採択

○所属学会

日本体育・スポーツ・健康学会、日本生涯スポーツ学会、兵庫体育・スポーツ科学学会

○自己評価

計画通りに進めることはできなかったが、名古屋市名東区において数千人規模の調査を実施することができた。引き続き、マスターズに拘ることなく、生涯スポーツをキーワードに研究活動に取り組む。

Ⅲ 大学運営

○目標・計画

【目標】

所属委員会、大学および学園業務において与えられた役割を果たす。

【計画】

所属委員会（地域・産学連携センター運営委員会、教養教育センター運営委員会）、大学および学内事業にて、それぞれに求められる役割をしっかりと把握・理解した上で自身の役割を果たし、貢献する。

○学内委員等

地域・産学連携センター運営委員会、教養教育センター運営委員会

○自己評価

各委員会において委員として貢献した。

Ⅳ 社会貢献

○目標・計画

【目標】

研究成果を社会に還元し、地域における生涯スポーツ活動の促進に尽力する。

【計画】

全国高校野球 OB クラブ連合と連携し、マスターズ甲子園地方予選（特に東海地区）においての生涯スポーツ活動の普及における問題や課題の解決について取り組む

○学会活動等

兵庫体育・スポーツ科学学会 編集委員

○地域連携・社会貢献等

- ・名東区スポーツ・健康×まちづくり協議会設立準備委員会（第3、4、5回会議にて調査報告）
- ・令和5年度「名東区スポーツ・健康×まちづくり」に関する五者連携協定報告会 調査報告

○自己評価

学会活動については編集員としての業務に付け加えて、学術論文の査読を2編行った。地域連携・社会貢献については東邦学園スポーツ・文化振興局・中野准教授と共に名東区のスポーツによる活性化について貢献できたと考える。

V その他の特記事項（学外研究、受賞歴、国際学会交流、自己研鑽等）

（受賞歴）

- ・日本スポーツ協会 第 23 回秩父宮記念スポーツ医・科学賞 奨励賞 受賞 「マスターズ甲子園開催を通じた生涯スポーツ推進プロジェクト研究グループ」（2021 年 1 月）
- ・スポーツコミッション関西・関西広域連合 インターカレッジコンペティション 2016 最優秀賞受賞「学生ルポライターチームの新設」（2017 年 1 月）

VI 総括

講義においては着任初年度でもあり、本学学生への順応により重点を置き、授業運営に概ね問題はなかったと思われる。研究活動については、学内研究費（地域創造研究所 2023 年度指定課題 特別研究助成）に採択され、名東区において 4,000 名を対象にした調査を実施することができた。来年度は調査結果をまとめ、学会発表（演習学生の学会発表も含む）や論文投稿できるように日々研鑽していく。

以上